

# じゃっと新聞

No.54号

定期総会のご報告

発行日：2009. 8. 3

発行人：小幡 順子

発行所：じゃっと事務局

〒895-0054 鹿児島県薩摩川内市神田町  
11-20 若松記念病院内

TEL/FAX 0996-27-0193

e-mail [jaddo@po2.synapse.ne.jp](mailto:jaddo@po2.synapse.ne.jp)

<http://www2.synapse.ne.jp/jaddo/>



Sangthong 小学校の子供たち

じゃっと理事長 小幡順子  
5月16日NPO「じゃっと」定例総会が行なわれ、決算、予算他原案通り承認されました。(p2～p7をご覧ください)今年度は、ピエンチャン特別市地区、特にサントーン地区の学校保健活動を重点に活動していく予定です。

一昨年度より実施している学生のラオス派遣についても続けて行なう事と承認頂きました。8月から関係機関と連絡をとり、高校生・大学生の対

象者を選考していきたいと考えています。新型インフルエンザなどの流行の状態によっては、学生派遣については延期も考えています。その際、大人のスタディツアーについては、実施いたしますので興味のある方は、日程等事務局までお問い合わせください。

さて、昨年から分科会主催者として参画している鹿児島大学留学生センター主催の「多国籍合宿」に今年も参加してきました。昨年同様の内容だったのですが、参加者が変わると出てくる意見も違い、こちらとしても参考になる話など聞いてとても有意義な二日間となりました。詳しくは、別途報告をお読みください。

このように「じゃっと」では、ラオスにおける学校保健活動だけでなく、国内活動も行っています。「開発教育」を中心とした広報活動や、ラオスを身近に感じてもらう絵本の翻訳シール貼り活動、ラオスの文化を知ってもらう為のラオス物産品の紹介・バザー活動などです。

そうした活動の一部として、今回JICAカウンターパート研修事業として、ミャンマーから教師一名を受け入れました。6月29日からの3週間、薩摩川内市の小中学校を中心に学校運営や教育法など様々な研修を行いました。「じゃっと」だけでなく、教育委員会、対象小中学校、関係機関のご協力により受け入れが可能になりました。

ラオスだけでなく、わたしたち「じゃっと」が願うのは「子どもたちが健康で過ごせる環境の充実」です。これからも関係機関と連携を取りながら、海外からの研修生を受け入れられるようにしたいと考えています。

受け入れてくださった川内中央中学、川内小学校他の子供たちに、国際関係を考える機会になったであろうと思います。

今後とも、会員の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

# 平成 20 年度（2008 年）事業報告

自 2008 年 4 月～至 2009 年 3 月 31 日

昨年度に引き続き高校生、大学生の視察ツアー派遣を行った。19 年度からの事業であるが、視察ツアー派遣を行う事で、派遣学生が途上国へ心を寄せ、また周りの若者が世界の動きに関心を持ち、地域の中で“じゃっど”の認知度が上がることを期待している。

鹿児島大学留学生センター主催の「多国籍合宿」にて、分科会を主催した。また、その他講師派遣依頼に基づき開発教育に関する講座を行った。

薩摩川内市においては、絵本部が活動を活発に行った。ホームページの内容充実に努めた。

## 1. 国内の活動

### ① 絵本部：

例年通り、絵本部が中心となりラオスの子ども達に「絵本を届ける運動」を行った。（社団法人「シャンティ国際ボランティア会」から、ラオス語訳のシールと共に日本の絵本セットを購入。会員、また活動を理解し協力して下さる方々にラオス語訳シール貼りの作業を手伝って頂き、ラオスへと送るものである）

19 年度に引き続き、読み聞かせの団体等に協力をお願いし、実施した。小学校、中学校、高等学校の生徒さん達に活動の趣旨を説明し、多くの方から協力を得た。シールを貼る前に絵本を楽しんでいただき、ボランティアや国際協力について意識する良い機会となっている。

#### ◆ ご協力いただいた団体

薩摩川内市国際交流センター「キッズえいご」、中央公民館「おはなしひろば」、川内商工高等学校ボランティア部、長島町立川床中学校、薩摩川内市立寄田小学校、若松記念病院

### ② バザー部：

じゃっどスタディツアー時に物品を仕入れ、事務局で販売を行った。その他、美容室「キュア」、「道楽」（めん道楽）に委託販売をお願いした。

各種イベント等に積極的に参加し、ラオス雑貨のバザーを行った。また、バザー時にはパネル等を掲示し、ラオスの現状報告とじゃっど活動広報を行った。

#### ◆ 参加したイベント

- ・ 薩摩川内市ぎおん祭り（7 月）
- ・ 純心大学祭（10 月）
- ・ 薩摩川内市きやんせふるさとフェスタ（3 月）

### ③ 開発部：

#### ◆ 理事による講演、会合への出席

- ・ 鹿児島大学法文学部「国際交流のすすめ」（6 月）
- ・ 鹿児島大学留学生センター「多国籍合宿」（6 月）
- ・ 南さつま市加世田中学校 1 年「働く人の話を聞く会」（1 月）

※ 加世田中学校 PTA の方々からは、講演と前後して文房具を集められ“じゃっど”へ届けていただいた。これを派遣学生がツアー時に持参、ラオスの小学生へ渡した。南さつま市で机いす募金活動もしていただいた。

- ・ 長島町川床中学校「ちがいのちがい」（10 月）

### ④ 広報部： ・ じゃっど新聞 51～53 号を発行。

- (各号は、じゃっどのホームページ及びブログからダウンロードできるようになっている。)
- ・「NPO じゃっどパネル展」の開催～プラッセだいわ川内店で2月21日～22日  
(終了後、宮崎銀行川内支店、薩摩川内市国際交流協会に展示)

◆じゃっど事務局訪問

- ・ JICA九州キャラバン隊
- ・ 西日本国際財団常任理事
- ・ 九州電力協同組合鹿児島支部執行委員長

2. ラオスでの活動

対象校及び活動内容

当初年度計画にあったピエンチャン特別市地区3校のほか、年度途中であったが、8月に起こった水害のため大被害をうけたピエンチャン特別市地区サントーン地区の2校を新たに対象校とした。(当初予定のチェンパサック県のコーン島郡ドンロンカン地区については活動保留とした)

	活動内容	対象開始年度
ナテ (Nate)	校舎周囲のフェンス設置	2002年度
ノンケン (Nongkeng)	職員室・図書室建設	2002年度
タディンデン (Thadindeng)	水道設備・トイレ設置 (未着工)	2006年度
サントーン地区； ファントン (houaytom)	教室建設補助 (校舎基礎部分の材料代) 机椅子寄贈	2008年度
サントーン地区； ポーノイ (pho-gnoi)	教室建設補助 (校舎基礎部分の材料代)	2008年度

指導視察

ソムチット医師とコンサップ医師が、ボランティア医師、指導教師などとともに、ピエンチャン首都圏の対象の学校を訪問し、前年度のセミナーを受講した教師が、衛生教育を行っているのか、子供たちへ伝わっているか、学校の清掃がなされているか、トイレがきれいに使用されているか、トイレの水が十分に確保できているかを視察した。不十分な箇所は、何が問題かを話し合い解決への糸口を探した。教師からの質問に答えた。子供たちの健康診断に行き指導を行った。駆虫薬、牛乳、文房具を供与した。

教師対象の衛生教育セミナー：12月27日 (2007)

サントーン地区の村長・校長・保健省職員を対象にセミナーを実施。29小学校対象に実施  
参加者にはスポーツ用品 (サッカーボール・バレーボール・セパタクロ) を寄贈

3. 視察ツアー

①じゃっどスタディツアー 2008年12月25日～31日

対象校4校を訪問視察 (ファントン、ナテ、タディンデン、ノンケン)

教師対象の教育セミナー視察

セラティラート病院、NPO「ラオスのこども」訪問

②スタディツアー帰国報告会

2008年2月1日 於：薩摩川内市国際交流センター

# 平成21年度（2009年）事業計画

## 1. 国内活動

- ① 絵本部：じゃっど活動の広報、開発を兼ねて、また地域貢献への意識も持って行う。  
絵本の仕入れ元であるシャンティ国際ボランティア会（SVA）とは、ツアー時の現地事務所訪問等、つながりを持っていく。
- ② バザー部：ツアー時に物品を仕入れ、各種イベントなどに積極的に参加し、広報活動とともにラオス雑貨販売する。「ボランティア」協力のひとつとして関心を集め、協力の裾野を広げていく窓口とする。
- ③ 開発部：昨年に引き続き、以下を行う。
  - ・鹿児島大学法学部にて講義「国際交流のすすめ」
  - ・鹿児島大学にて講義「ボランティア学」
  - ・鹿児島大学留学生センター「多国籍合宿」にて分科会主催
  - ・県内の国際交流活動に積極的に参加
  - ・薩摩川内市の小中学校を中心に、スタディツアーに関連して事前講演（募金活動）と事業後の参加者（及び派遣学生）による講演活動を行う。
- ④ 広報部：じゃっど新聞の発行、ホームページ、ブログの更新  
パンフレットの作成、配布、ボランティアスタッフの募集 ほか

## 2. 国内事業

- ① 「ラオススタディーツアー」関連事業  
2009年12月下旬（平成21年12月23日～30日ごろを予定）
  - ・じゃっどを鹿児島県内でもっと知ってもらうためにスタディーツアーを企画、実施する。
  - ・大学生・専門学校生・高校生を対象とする「学生枠」を設けて、参加費の一部をじゃっどが助成する。  
（※鹿児島県下より大学生2名、薩摩川内市の高校生2名を予定）
  - ・ツアーに合わせて、ラオス国内の事業（研修等）の一部を行う。
  - ・ツアーに前後して、市内の小中高を対象とする事前講演（募金活動）と事後報告会を行う。
  - ・ツアー終了後には「ツアー報告パネル展」及び「帰国報告会」を開催する。派遣学生は体験記を作文、スライド等で発表する。
- ② 「じゃっどパネル展」の巡回  
薩摩川内市の民間（および公共）施設で、パネル展を実施する。
- ③ 会員向け広報、サービス  
じゃっどオリジナルTシャツ（昨年作成）の頒布（1000円以上の寄付者へお礼として）
- ④ JICA活動への協力 ミャンマーからの教育視察への協力
- ⑤ 助成金等  
薩摩川内市国際交流協会ネットワーク団体  
鹿児島県および薩摩川内市の各種助成制度への応募

企業との連携・・・パネル展（地元企業）の共催

### 3. ラオスでの事業の実施に関する事項

“じゃっど”活動の3本柱である

A：教師対象の健康教育

B：子供たちへの健康教育、健康診断

C：学校施設の整備

を基本とし、ラオス国内の活動を行う。

今年度の重点支援校は以下の学校とする。

対象校については、例年通り、教育セミナーへの参加、及び健康診断、駆虫薬投与、教材教具の援助等を行う。

ビエンチャン都市部において、“じゃっど”の衛生の歌コンテストを開催する。

	活動内容	対象開始年度
ノンケン (Nongkeng)	保育園建設補助	2002年度
タディンデン (Thadindeng)	水道設備・トイレ設置 (2007年度計画分からの未着工分)	2006年度
サントーン地区； ファントン (houaytom)	校舎建設資材補助 水道設備・トイレ設置	2008年度
サントーン地区； ポーノイ (pho-gnoi)	机椅子 黒板	2008年度

## 会計 2008年度収支決算書及び2009年度収支予算書

### I 収入の部

科目		2008年度決算	2009年度予算
前期繰越収支差益	国内	4,395,452	3,546,302
	ラオス	320,833	319,091
会費・寄付金	年会費(2000円×会員数)	268,000	300,000
	寄付金(個人)	742,124	300,000
	寄付金・賞金(団体)(※1)	506,221	0
	机いす募金	217,500	250,000
	助成金 【薩摩川内市国際交流協会】	50,000	200,000
	<b>小計</b>	<b>1,783,845</b>	<b>1,050,000</b>
事業費	普及・啓発活動事業(※2)	210,000	280,000
	<b>小計</b>	<b>210,000</b>	<b>280,000</b>
その他	利息	5,932	4,000
	雑収入(※3)	92,764	80,000
	為替差益	10,030	
	雑貨売上収入(※4)	220,400	200,000
	<b>小計</b>	<b>329,126</b>	<b>284,000</b>
A当期収入合計		2,322,971	1,614,000
<b>B収入合計</b>		<b>7,039,256</b>	<b>5,479,393</b>

### II 支出の部

科目		2008年度決算	2009年度予算
事業費	学校保健事業(*1)	91,113	300,000
	学校設備充実事業(*2)	953,111	1,500,000
	研修事業(*3)	118,519	300,000
	普及・啓発事業(※2)	835,101	1,000,000
	<b>小計</b>	<b>1,997,844</b>	<b>3,100,000</b>
管理費	人件費(※5)	534,133	100,000
	事務消耗品費(※6)	99,171	250,000
	印刷製本費(※7)	31,976	50,000
	会議費	17,461	20,000
	通信費(※8)	271,031	250,000
	NPO連携(JANIC年会費)	30,000	30,000
	雑費(※9)	40,467	80,000
	<b>小計</b>	<b>1,024,239</b>	<b>780,000</b>
雑貨仕入れ		141,280	100,000
バザー管理費		10,500	20,000
予備費(活動準備金)		0	1,479,393
	<b>小計</b>	<b>151,780</b>	<b>1,599,393</b>
C当期支出合計		3,173,863	5,479,393
A-C当期収支差益		-850,892	-3,865,393
<b>B=C次期繰越収支差益</b>		<b>-3,865,393</b>	<b>0</b>

資産の部		負債と次年度活動準備金の部	
科目	金額	科目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1 流動資産の部		1 流動負債	
①現金	17,011	①未払い金	
②郵便預金	3,409,942	②前受け金	
③棚卸資産	119,349	③預かり金	
④未収入金			
⑤仮払金	319,091		
流動資産合計	3,865,393	流動負債合計	0
2. 固定資産		2 固定負債	0
		III 正味財産の部	3,865,393
合計		合計	3,865,393

## 監査報告

2008年4月1日～2009年3月31日の期間のじゃっどの決算に関し、事業は適正に実施され、収支計算書及び貸借対照表、諸帳簿は、会計原則に基づいて作成され、監査の結果、確かに相違ないと認めましたのでここに報告します。

2009年5月13日 監事 若田吉朗

多国籍合宿とは：在鹿外国人と日本人が総勢 300 人ほど集まり、1泊2日を共にして交流し、異文化に対する理解を互いに深めようという目的のもとに行われるものです。（鹿児島大学留学センター主催）

2000 年から始まったこのイベントは、2009 年で 9 回目となります。じゃっどは、昨年同様分科会で参加しました。以下、分科会の概略と参加者の報告をまとめました。

じゃっど分科会内容：ちがいのちがい ～ラオスと日本～

1. 内容・目的

自分の常識が世界の常識でないことに気づき、相互理解への契機とする。

2. 内容設定の理由

日頃生活をしていると、自分の常識が世界の常識だと誤解しがちである。じゃっどの活動地であるラオスと日本と比較することで、「ちがい」があることに気づき、何故「ちがい」が生まれたかを考える。他参加者と「ちがい」について討論する事で、新たな違う視点を持つ機会として欲しいと、この分科会を提案した。また、例としたラオスと日本だけでなく、ちがいが生まれるにはそれぞれの地域や環境、年代等による理由があり、何故ちがうのかということも考慮に入れた相手への思いやりや尊重する態度を養う契機として欲しい。最終的には、「じゃっど」活動の起点となっている、「ないほうがよいちがい」について考え、「じゃっど」活動への理解、参加を募る機会としたい。

3. 以下の①～⑩までの設問で、この「ちがい」はあってよい「ちがい」？それともないほうがよい「ちがい」？その理由は？自分の考えを書いて、発表してもらおう

- ①日本の主食はうるち米だが、ラオスの主食はもち米だ
- ②日本では、赤ちゃんが生まれるとすぐに出生届を出すのが多いが、ラオスでは 1 年間待つことが多い
- ③日本では 5 歳以下の死亡率は 1000 人あたり 4 人、ラオスでは 1000 人あたり 83 人である
- ④お金持ちのコンサップさんは、肺炎の診断で抗生物質の点滴を受けて治った。現金収入のないカンミーさんは、コンサップと同じ症状だったが病院に行くこともなく亡くなった
- ⑤ソムチャイさんは、オーストラリアに難民として移住した兄から送金があり、冷暖房付の家を建てた。同じ職場で同じ給料のブンライさんは、竹で葺いた家に住んでいる
- ⑥ラオスでは、首相を批判する本は発売禁止になるが、日本ではならない
- ⑦日本の平均寿命は 82 歳だが、ラオスの平均寿命は 55 歳である
- ⑧川内小学校の出席番号は、男子が先で女子が後になっている。ラオスでは女子が先、男子が後になっている
- ⑨日本人の小幡さんは箸を使って食事をするが、ラオスのノイさんは手を使って食事をする
- ⑩日本では紙を持ってトイレに行くが、ラオスでは棒を持って行く

参加者：村方千鶴（じゃっど会員）

初めて多国籍合宿に参加して印象に残ったことは、行きの垂水フェリー内で、温泉卵、肉、かきあげがのったデラックスうどんがあり、とても美味しかった事、大隈青少年自然の家に着後すぐの、じゃっどの「ちがいのちがいの」の分科会でみんなの意見を聞き、自分の常識が全てではなく、色々なものさしがあるのだとあらためて再認識し、とても有意義だった事、割り当てられた部屋の2段ベッドが壁際にずらっと並んでいるのを見て、よく一人旅の時利用してたユースホステルを思い出して懐かしく感じた事、異文化紹介では小幡氏から借りたラオスのシンをばい、ファッションショーにも参加し、その後の各国の歌や踊りをすべて堪能した事、部屋に戻って寝たら、外でまだ楽しんでいた人たちが遅くに帰ってきてうるさかったので注意したら、逆に怒られ、これこそ異文化体験だと啞然とした事などです。国分高専（鹿児島工業高等専門学校）にラオスから留学中のカオヤン君にも会いました。にこにこしていましたが、勉強も難しく大変そうです。

とにかく盛りだくさんの一泊2日でした。また来年も多国籍合宿に参加したいと思いますが、50歳を過ぎ若者たちと全て同じ様にするにはちょっときつく、宿泊は別なところでなんて思っています。



帖佐徹氏、村方千鶴氏、カオヤン君 帖佐理子理事



小幡理事司会の分科会



グループに分かれて発表し合う



参加者全員によるレクリエーション

## JICA カウンターパート研修受け入れ Zn Mar Win さん

ミャンマーからジン・マーウインさん（30歳女性中学校教師）が3週間、薩摩川内市で研修されました。教育委員会に受け入れていただき、“じゃっど”がお手伝いしました。日本国政府の外郭団体である JICA（国際協力事業団）の「カウンターパート研修」です。ジンさんは、“じゃっど”現地スタッフとして大きな業績を残した吉田いつ子さんのカウンターパートなのです。吉田さんは、ミャンマーで JICA 専門家として、識字教育、保健活動などに携わりました。中国の国境に近い町、コーカン特別区に住んでいて、国際空港のあるヤンゴンからバスを使って2泊3日かかるそうです。田舎ですが、中国に近いためにインターネットは浸透していてメールのやり取りはスムーズです。

ジンさんから聞きました。ミャンマーでは、一般的に女性はアルコールを飲まない。一人では隣村にも旅行しない。（一人で日本に行くなんてとんでもないと大変反対されたそうです。日本に着いて“じゃっど”スタッフと一緒に写真をメールして安心したと返事メールをもらったそうです。）など驚く話がたくさんありました。

以下ジンさんのお話です。

川内中央中、川内小学校、清水丘保育園、厚生園、自興園、つくし園でお世話になりました。小中学校の子どもたちが、顔見知りになり街角で声をかけてもらえたのがうれしかった。障害を持つ子供たちがオープンに日常の小中学校の中にある教室で、状況を把握できている教師により教育が行われていることに大変感激した。ぜひ、ミャンマーで行いたい。国からの派遣なので、普段は会えない国の役人に報告をすることができるので、障害児教育について国を挙げて取り組んでもらえるようお願いするつもりだ。

多くの皆様、ありがとうございました。

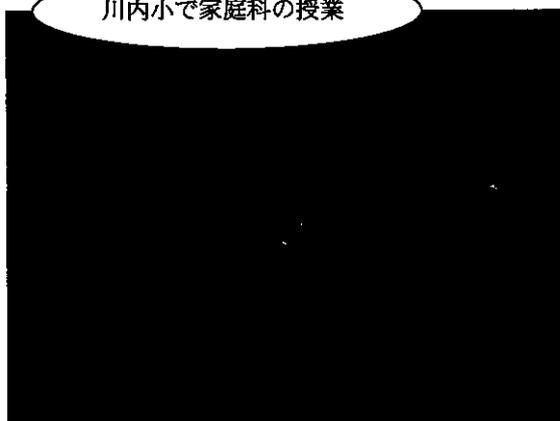
川内小の子供達と給食



中央中のパソコン実習



川内小で家庭科の授業



清水丘保育園にて夏祭り



## 【事務局たより】

新規会員・ご寄付（2009年4月～2009年7月）

感謝の気持ちと共に、ご協力くださった皆様のお名前を記載させていただきます。（以下敬称略）

■ **新規会員** 成田賀寿代（滋賀県）太利公宏、中島清登（薩摩川内市）村方千鶴、窪田喜代子（鹿児島市）森重学（霧島市）川原恵子（阿久根市）

■ **平成21年度会費** 矢野千鶴子、新原千恵子、和田ミヨ、安藤津儀江、田中英世、辛島芳子、川畑善照、太利公宏、庵地紘一、久木野勲、泊亜希子、古田宣稔、愛甲明実、田中律子、柴こうこ、瀬戸山弘子、宮脇美智子、田中康代、牧田弘子、増岡淳子、山下矣礎子、安永健次郎、江口是彦、若松郁子、帖佐徹、帖佐理子（薩摩川内市）高橋真弓、小屋一美（いちき串木野市）窪田喜代子、村方千鶴（鹿児島市）川原恵子（阿久根市）帖佐秀人（伊集院町）藤島美由紀、サイヤ キエンベツト、（愛知県）成田賀寿代（滋賀県）高橋栄子、佐藤元子、阿部雅昭、阿部貴美子（東京都）姫野治子、橋本晴美（福岡県）森重学（霧島市）

■ **平成22年度会費** 牛之浜妙子、関孝子、田中律子、庵地紘一、神崎侯至（薩摩川内市）佐藤元子（東京都）

■ **寄付金** 北住信子、八尻マサ子、菱刈昭郎、菱刈明子、太利公宏、瀬戸山弘子、立島尚子、宮里百恵、木藤晃、田中康代、中島清登、山元茂子、吉永隆徳（薩摩川内市）小幡順子（日置市）帖佐秀人（伊集院町）

■ **机、いす募金** 6口：小倉イソ（薩摩川内市）  
2口：北住信子、八尻マサ子、菱刈昭郎、菱刈明子、有嶋明利、有嶋京子、立島ユカイ、立島尚子、上夷由紀子、中島清登（薩摩川内市）福元良英（指宿市）成田賀寿子（滋賀県）  
1口：田中力、田中康代、中島清登（薩摩川内市）帖佐秀人（伊集院町）阿部雅昭、阿部貴美子（東京都）

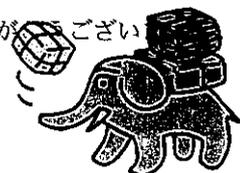
■ **助成金** 第6回九州ろうきん「NPO助成金」15万九州ろうきんホームページ（<http://kyusyu.rokin.or.jp/>）の「NPO応援活動」をご覧ください

■ **広報協力** Cuir Hair 仮屋洋子  
めん道楽内「ギャラリー道楽」竹下恵美子

■ **印刷協力** 神崎侯至（株式会社アクティブ）

■ **新聞発送協力** 立島尚子

■ **文具の寄付** （株）アトル様、神田調剤薬局様よりボールペン他文具を頂きました。皆様の善意、ありがとうございます



## 【国内活動】

3月31日 ジャっと雑貨棚卸

3月11日～ジャっと活動写真パネル展 於：薩摩川内市国際交流センター内ロビー

4月19日 ジャっと理事会（小幡理事、古田理事、帖佐理事、若田監査、神崎会員、宮脇事務局員）

4月25日 第6回九州ろうきんNPO助成フォーラム  
助成金贈呈式（小幡理事長）

4月19日 ジャっと理事会（小幡理事、古田理事、帖佐理事、若田監査、神崎会員、宮脇事務局員）

5月16日 第17回ジャっと総会 於：すこやかふれあいプラザ

5月26日 資産総額の変更登記申請 於：鹿児島地方法務局

5月31日 第16回さつまパイロットクラブチャリティーコンサート（雑貨販売）  
於：城山観光ホテル（牧田、増岡、帖佐理事）

6月3日 理事の変更に伴う変更登記申請 於：鹿児島地方法務局（6月9日登記完了確認）

6月4日 鹿児島大学 講義（帖佐理事「ボランティア論」）

6月10日 県への事業報告書提出 薩摩川内市コミュニティ課

6月13-14日 鹿児島大学留学生センター主催「多国籍合宿」分科会に参加：（小幡理事、帖佐理事、帖佐徹、村方）

6月18日 鹿児島大学にて講義（帖佐）「国際交流のすすめ」

6月25日 鹿児島大学にて講義（帖佐）「国際交流のすすめ」

7月4日 JICAカウンターパート研修（小幡、帖佐）

7月11日 JICAカウンターパート研修（小幡、帖佐）

7月18日 祇園祭 於：向田公園（古田理事、増岡、柴、宮脇）

### ■ 会費納入のお願い

各会員様の会費納入状況（会費有効期限）は、宛名シール内に記載してあります。どうぞご確認ください。（今年度平成21年度会費の有効期間は、平成21年4月1日～平成22年3月31日です）※ゆうちょ銀行の自動引落としにて会費お支払の方は、支払日＝8月30日となっております。※振込用紙はすでに今年度会費を納入済みの方にも同封してあります。寄付金等のご協力にお使いいただければ幸いです。（ジャっと事務局）

ジャっとの活動は皆様の会費に支えられています。

机いす募金・寄付金、随時受け付け中です。

よろしく願いいたします。

ゆうちょ銀行： 0250-2-4746 口座名 JADDO

# じゃっど INFORMATION

## ◆JICAカウンターパートのZIN MAR WINさんがインタビュー！！

○好きな食べ物：すっぱい食べ物（Sour food）

○サワースープ（ミャンマー料理）（余談：お寿司が大好きですが、いなりずしは甘くてショックだったようで、好みではないそうです）

○好きなスポーツ：バレーボール

○趣味：読書

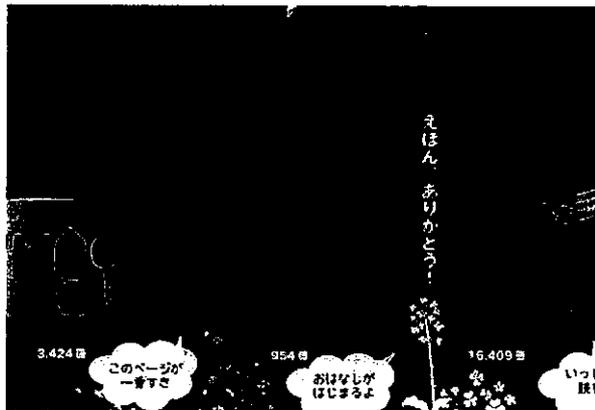
○小中学校を訪問しての感想：指導方針はミャンマーとあまり変わらない。しかし、ハンディキャップのある生徒らが一緒に勉強していたことが印象的だった。ミャンマーではこのようなシステムはない。

○家庭科で調理を男子も一緒にするのに、びっくり！技術の先生が女の先生だったからびっくり！お好み焼屋サンで男性が焼いていたからびっくり！（ミャンマーでは男子の仕事、女子の仕事がしつかり、分かれているらしい）



## ◆今年も参加します！絵本を届ける運動

シャンティ国際ボランティア会主催「絵本を届ける運動」にじゃっども協力しています。お礼のハガキがきました。



じゃっどの皆様へ 地球に絵本のタネをまく

昨年、全国から集まった絵本はついに2万冊を超え、この春、計2万2469冊がラオスをはじめカンボジア、アフガニスタンなど各地に届けられました。ラオスの移動図書館で、海を超えて、まかれた絵本のタネは、いま、小さな手のなかで芽を出そうとしています。ご参加有難うございました。

（シャンティ絵本を届ける運動スタッフ一同）

♪作業のお手伝い隊募集中♪

絵本を読んで楽しんだ後、付属のラオス語訳シールを切って貼るだけ！お子様と一緒に、あるいは童心に返って。身近にできるボランティア活動、1冊の絵本から始めてみませんか？【絵本はじゃっど事務局にあります】

## ◆じゃっどスタディツアー2009 お知らせ

12月23日(水)～12月30日(水)

ヴィエンチャン近郊支援校視察予定ほか（詳細は未定）

参加ご希望の方は、事務局までご連絡ください（10月末締切）

★今年度も「学生枠」の募集を行います。薩摩川内市在住の高校生以上の学生、又は鹿児島県在住の大学生・専門学校生の方には旅費の一部をじゃっどが援助します。

（書類面接選考あり・詳細は事務局までお問い合わせください）

じゃっど事務局：0996-27-0193



◎◎◎ 編集後記 ◎◎◎

●歴史資料館の福富館長出版の「のこしもそんや川内の方言」でじゃっどを調べてみました【その通り そうだよ】まったく同感の時は「じゃっ、じゃっ」と繰り返す。反対語【じゃんか】使いたくない単語でもなつかしい単語になりましたねー（K.K）

●今回は、ラオス学校保健活動以外の活動報告がたくさんありました。多国籍合宿の「ちがいのちがいに」にご意見お待ちしております。あなたの町でも「ちがいのちがいに」の講演会をいかがでしょうか。

じゃっどが出張いたします。（M、R）C

●発行が遅くなりました。じゃっど新聞の編集の中心メンバーだった、泊さんがお辞めになり他のスタッフで分担しながら編集しました。皆様のご意見を伺いながら、充実した内容目指して頑張ります（M、M）

次回じゃっど新聞は「上半期活動報告」号、2009年11月の発行予定です。お楽しみに！